

取扱説明書

JWP-B ダクト式無煙ロースター

形名 JWP-B (溶岩炭タイプ)

- このたびはロースターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解して下さい。
- お読みになった後は いつも手元においてご使用下さい。

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名前	3
準備	4
使いかた	6
お手入のしかた	7
仕様	9
さいごに	10
温度ヒューズ交換方法	

株式会社 中部コーポレーション

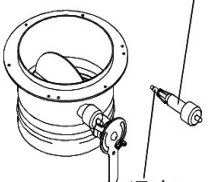
安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ 正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

- ガス漏れに気づいたときはすぐに機器の使用をやめ、ガス栓を閉じ、窓や戸を開放し、ガスを外に出し、販売者またはガス供給者に連絡し、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないこと。炎や火花で引火し、爆発事故の原因になります。
- 本体に貼ってある銘板のガス種以外では使用しないこと。
異常燃焼で火災、火傷や一酸化炭素中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。
不明な場合は、販売者またはガス事業者にご連絡してください。
- 引越しや移設をされたときは、供給ガスの種類と機器銘板のガス種が一致していることを、必ず確かめてください。
- 可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油缶など）のものを機器の上やまわりに置いたり、使用したりしないこと。
焦げたり燃えたりして火災の原因になります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところに設置しないこと。
機器の上に落ちたものが燃えて、機器が破損したり、火災の原因になります。
- 機器を設置した後、機器の周辺の改造をしないこと。
設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。
- 水槽に水が入っていない状態で使用しないこと。
火災の原因になります。
- 絶対に分解したり改造はしないこと。
異常動作したり故障の原因になります。
- 使用時には換気扇を回し、必ず換気すること。
換気しないと室内の空気が汚れて不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 地震、火災など緊急時や、使用中に異常な燃焼、臭気、音等ふだんと違った状態になったとき、不都合が生じたときには、ただちに使用を中止すること。
火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。
- 強い風の吹き込むところや屋外に設置しないこと。
性能が十分に発揮できなかつたり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のもの
の過熱の原因になることがあります。
- 安定性の良い丈夫で水平なところに設置すること。
不安定で傾いたところに設置すると、機器の落下や異常加熱などによって、ケガ
や火傷の原因になることがあります。
- 点火のときや使用中はバーナー付近に顔を近づけすぎないこと。
火傷の原因になります。
- 使用中および使用直後は、網や機器本体と、その周辺が熱くなっているので、
操作部以外は触らないこと。
火傷の原因になります。
- 使用中および、使用直後は焼網や水槽、溶岩炭、それら周辺部は
高温になっているので、持ち運びの際は、落としたり、
こぼしたりしないように注意すること。 火傷の原因になります。
- 本体へのガス接続は 金属可とう管などを用いて 専門の業者の方が
行ってください。ゴム管は使用しないでください。
火災・爆発の原因になります。
- キャビネット内での電源プラグとコンセントの接続は 確実に行ってください。
きちんとプラグが差し込まれていないと ショート等と引き起こし
火災の原因となります。
- 焼肉（焼き物）専用機ですのでコンロとして使用しないでください。
鍋は使用できません。

ヒューズホルダー

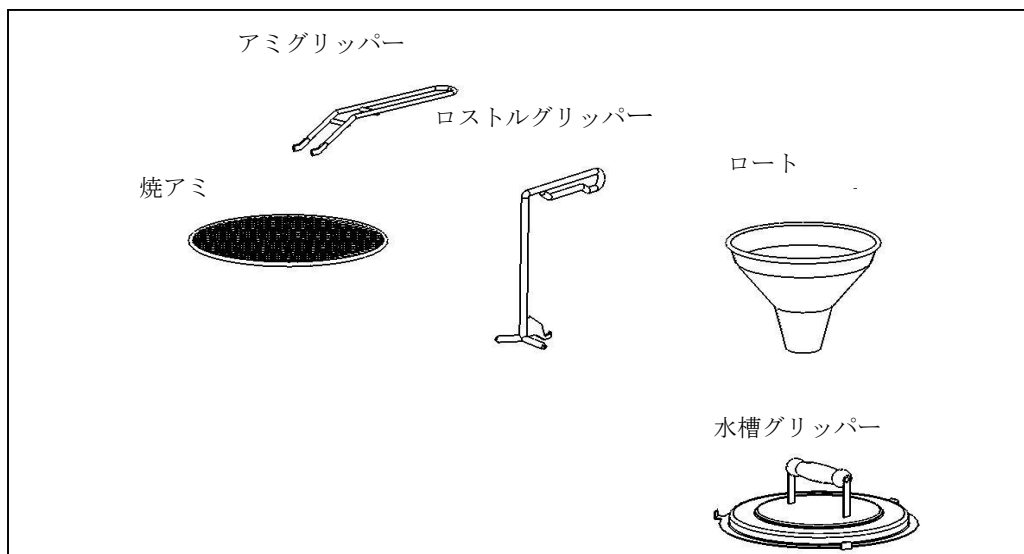
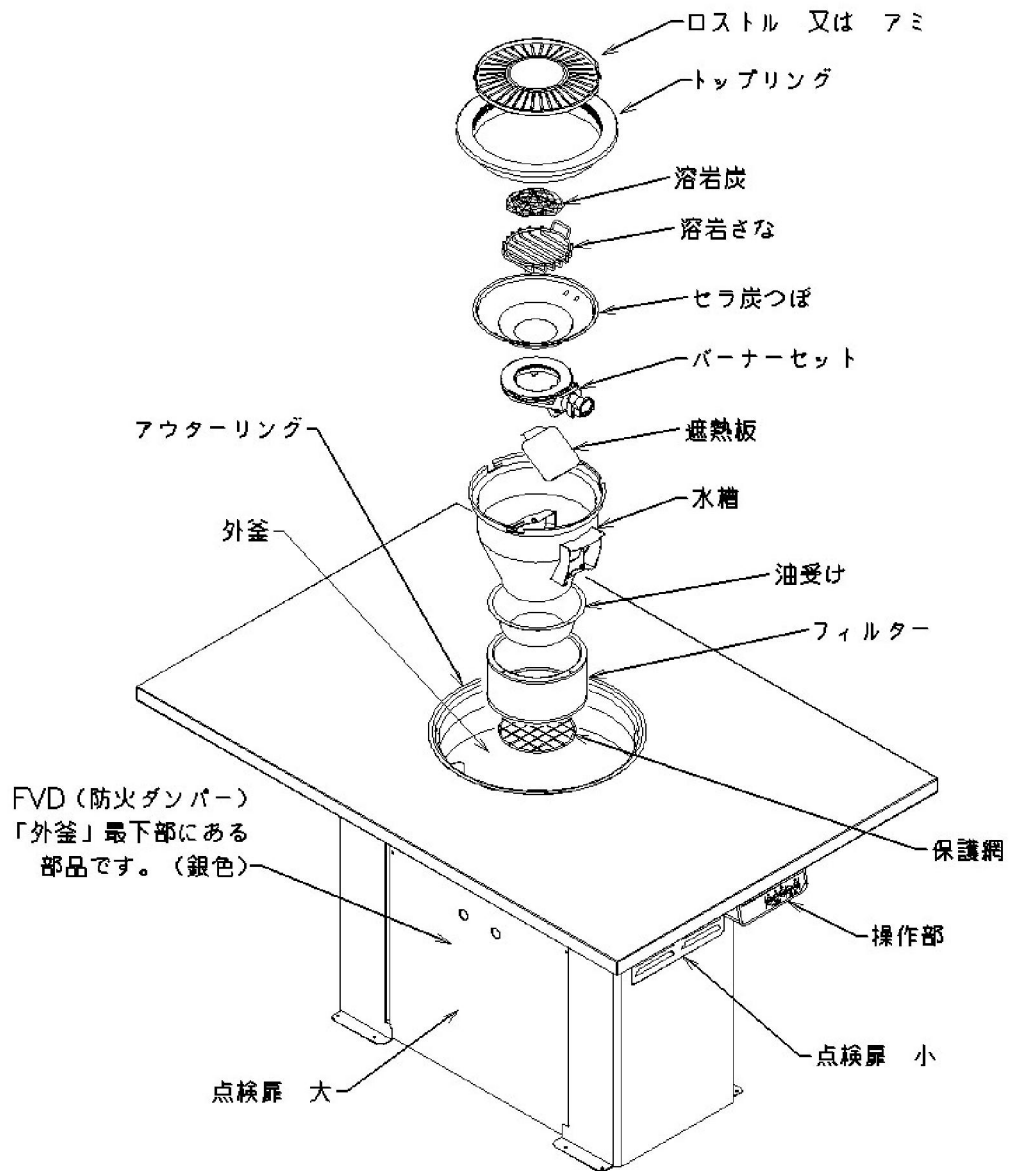


温度ヒューズ

【重要なお知らせ】

1. FVD、温度ヒューズ、ヒューズホルダーの清掃を定期的実施して下さい。
汚れ等が付着していると正常に作動しない恐れがあります。
2. 温度ヒューズ、ヒューズホルダーは定期的(1年ごと)に交換が必要です。
3. 1ヶ月に一度以上、FVDの作動テストを実施してください。 作動に不具合がある場合は、
速やかにお買い上げの販売店、弊社まで修理依頼をお願いいたします。

各部の名前

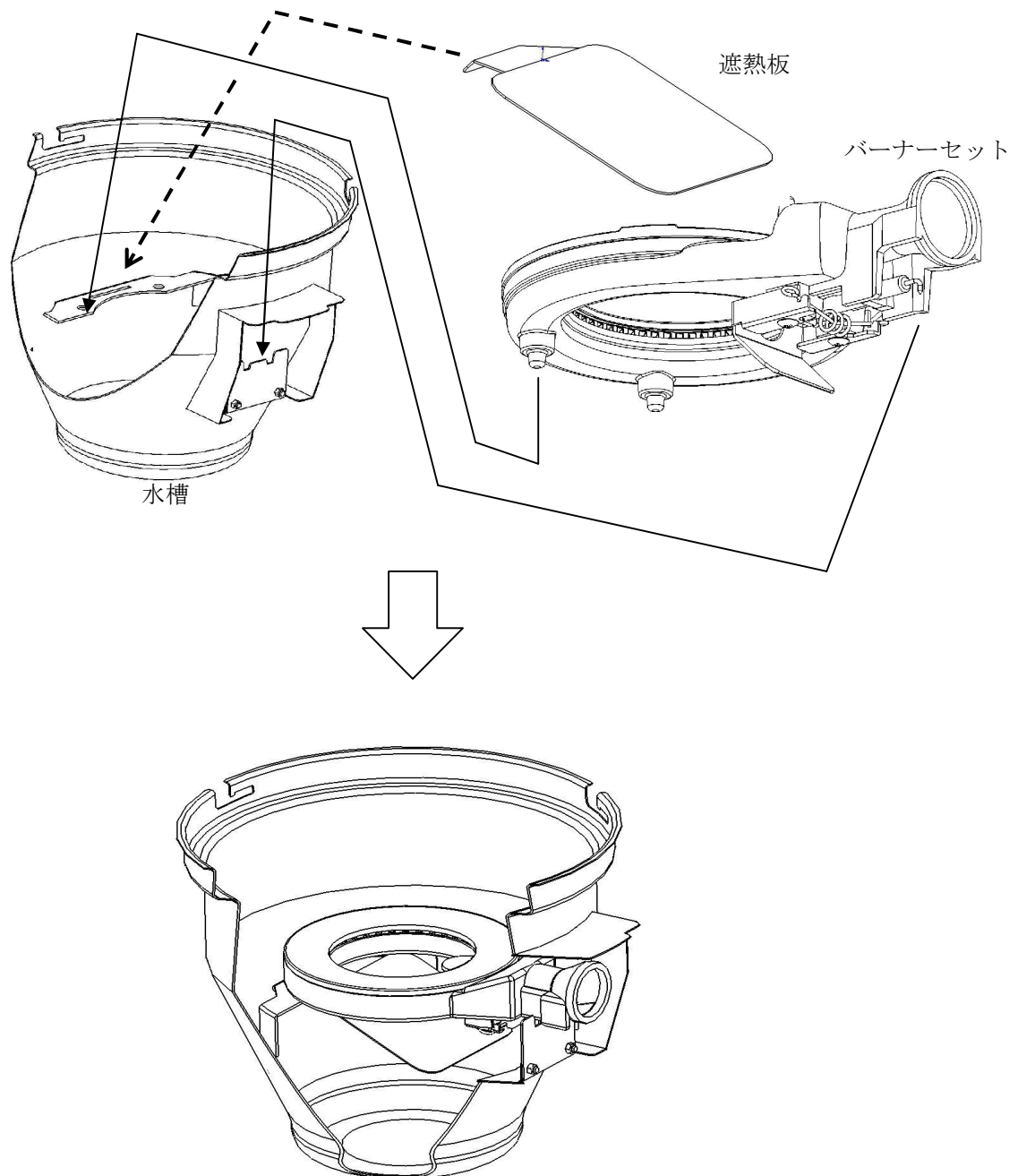


準備

(各部の名前は 3 ページを参照してください。)

各用品のセット

1. 「フィルター・油受け・保護網」をセットして下さい。
2. 「水槽」「遮熱板」「バーナーセット」をセットしてください。
 - ※1 あらかじめ「水槽」に「遮熱板」「バーナーセット」をセットしてから「水槽」を本体に入ると、簡単にセットできます。
 - ※2 「バーナーセット」を「水槽」にセットする際は下図の様にしっかりとセットしてください。セットが不十分だと 着火不良、異常燃焼や立消えの原因となります。



3. 「水槽」に水を入れてください。

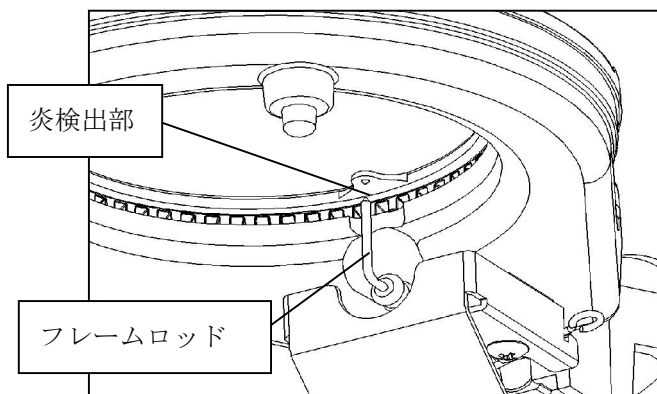
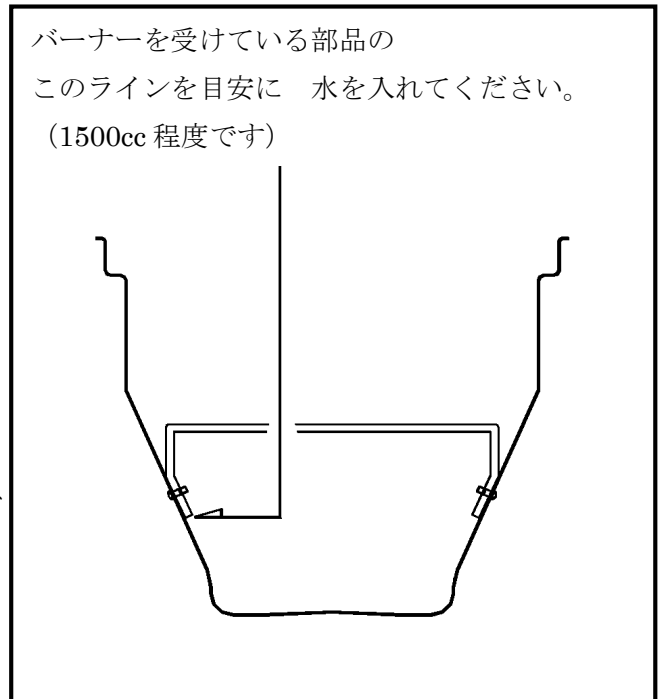
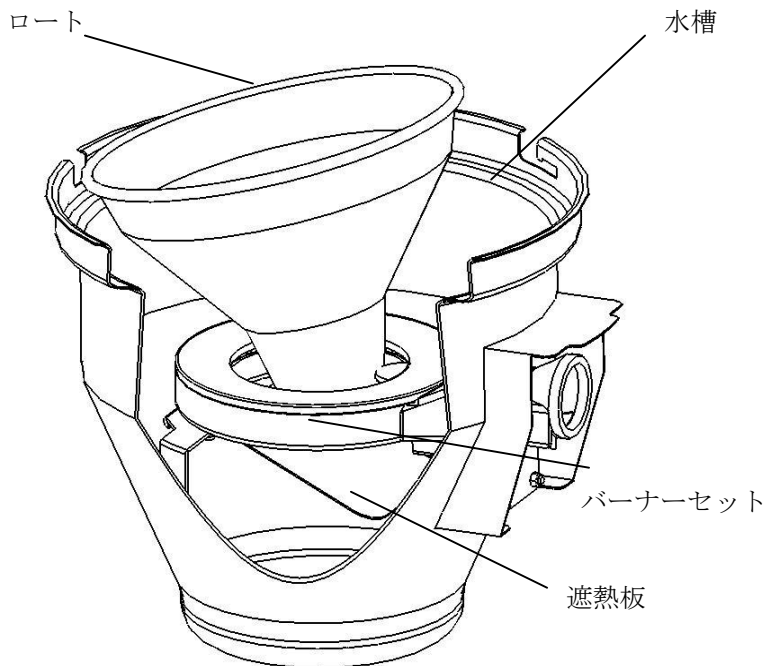
※1 適量は 1,500cc です。

※2 付属の「ロート」をご利用ください。

※3 水を入れる際にバーナーに水がかかると、立消え安全装置の

誤動作や 着火不良の原因となります。

- ・ 特にフレームロッド（立消え安全装置のセンサー）の炎検出部が濡れたり よごれていると 誤動作の原因となります



4. 「溶岩炭」「溶岩さな」「セラ炭つぼ」「トッピング」をセットしてください。

※「溶岩炭」は 1 釜当り：約 300g が目安です。

量が多いと、食材の焼け具合が悪くなります。

ー以上で準備は完了ですー

使いかた

点火、火おこしと火力調節

点火前に必ず換気扇を運転して下さい。

不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

1-① 点火

「点火」ボタンを長押し、または1秒間に2度押しします。

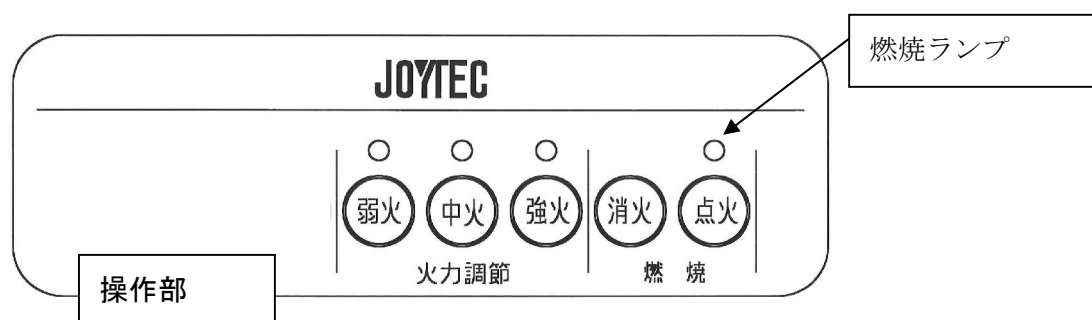
※操作部が天板吊下げの場合は「長押し」、操作部が天板上面にある場合は「1秒間に2度押し」の操作パターンになっています。
(工場出荷時に設定されています。)

1-② 点火作業後、燃焼ランプが点灯すれば正常です。

※燃焼ランプが点滅する場合は着火不良です。

セット不良やフレームロッドの汚れや水濡れの可能性があります。

2-① 火力調節と消火



- ・ 火力調節は「強火」「中火」「弱火」のボタンを押して 行なってください。
- ・ 「消火」ボタンを押すと ガス火が消火します。

注意とお願い

- ・ お客様の変わり目などで、網を交換する時、「水槽」の水量を確認して下さい。
もし少なくなっていたら水を追加して下さい。空水の状態が続くと器具内の温度が上がり 内蔵されたセンサーがそれを検知し、ブザーで知らせると同時に ガスを遮断します。

お手入のしかた

1. トッピング・溶岩さな・セラ炭つぼ・遮熱板

- ・毎日、専用洗剤[オープクリーナーFF/D9]（3～5倍希釈）で洗って下さい。
- ・乱暴に扱うとホーロー製品はヒビや変形がおこり異常燃焼の原因となります。
- ・トッピングは かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

2. 溶岩炭

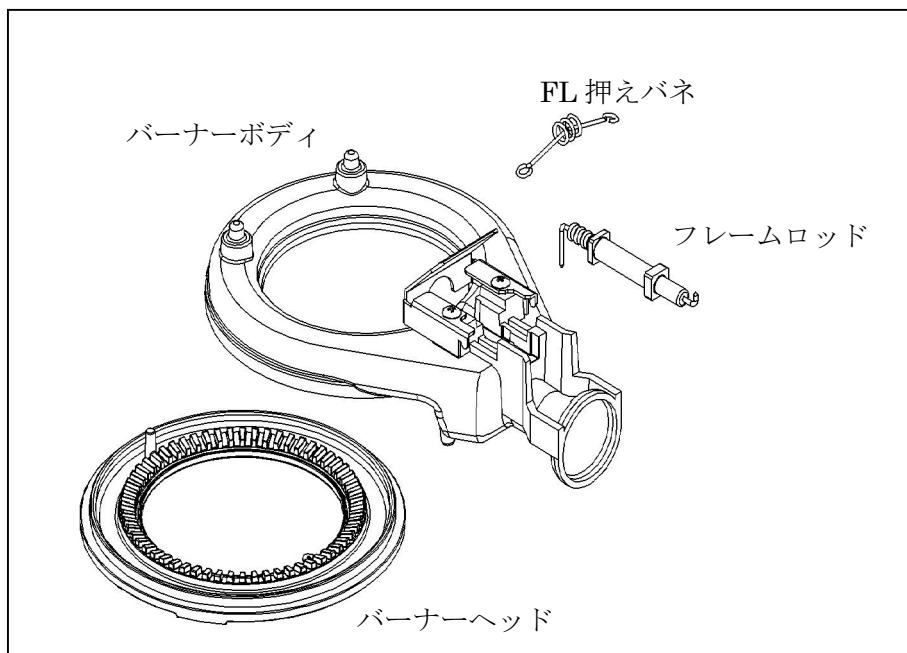
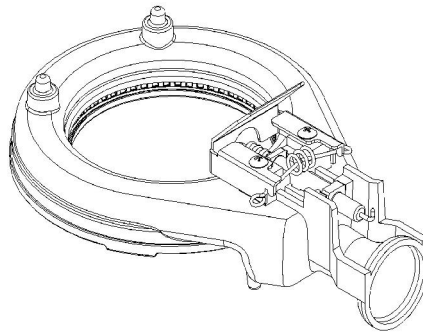
- ・溶岩は水洗いをしないで下さい。ご使用後はブラシ等で汚れを取り除いて下さい。
- ・溶岩が水に濡れた場合には、よく乾燥させてからご使用下さい。
乾燥が不十分なままで加熱しますと、飛び散ったりして、けがをすることがあります。
- ・溶岩はご使用になるうちに少しずつ小さくなっていきます。

3. アウターリング

- ・中性洗剤で 洗って下さい。
- ・かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

4. バーナーセット

バーナーセット
(裏側から見た図)



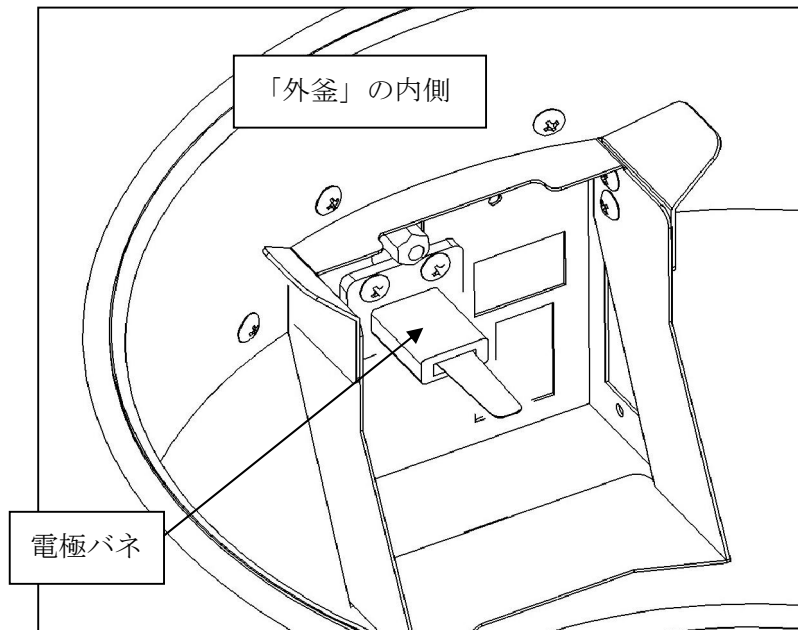
5. フィルター

- ・一週間に一度は専用洗剤「オーブクリーナーFF/D9」（3～5倍希釈）に2時間以上、浸けおきしてきれいな水等ですすいだ後、十分に乾かして使用して下さい。
- ※汚れがひどくなると、排気ファンの能力を大幅に低下させます。

6. 外釜・油受け・保護網

- ・使用頻度にも異なりますが、定期的に汚れを拭き取って下さい。
- 「外釜」に汚れが溜まっているとダクト火災の原因になります。

7. 電極バネ（立消え安全装置：フレイムロッド接点部）



- ・「電極バネ」はバーナーのフレイムロッドの信号を受け止める接点部です。
- 「電極バネ」が汚れていると立消え安全装置の誤動作となります。
- 矢印の部分アルコールや中性洗剤などで拭き上げて汚れを取り除いてください。
- ※アルカリ洗剤は用いないでください。コーティングの剥がれの原因になります。

8. FVD（防火ダンパー）

- ・定期的に、ウエス等で汚れを拭き取って下さい。
- ※油脂による汚れが固着すると、防火の動作に支障をきたし火災原因になります。
- ※FVDが作動した場合（炎が排気経路に流入したときに作動します。）は温度ヒューズホルダーを反時計方向に回転させて外し、内部の温度ヒューズを交換してください。その後、再びホルダーをセットしてください。

<p>ヒューズホルダー</p> <p>温度ヒューズ</p>	<p>【重要なお知らせ】</p> <ol style="list-style-type: none">1. FVD、温度ヒューズ、ヒューズホルダーの清掃を定期的実施して下さい。汚れ等が付着していると正常に作動しない恐れがあります。2. 温度ヒューズ、ヒューズホルダーは定期的(1年ごと)に交換が必要です。3. 1ヶ月に一度以上、FVDの作動テストを実施してください。作動に不具合がある場合は、速やかにお買い上げの販売店、弊社まで修理依頼をお願いいたします。
-------------------------------	---

仕様

・形名	JWP-B (溶岩炭タイプ)			
・形式名	JW-B1	JW-B1	JW-B2	JW-B2
・操作部位置	天板上面	天板吊下げ	天板上面	天板吊下げ
・釜数	1釜		2釜	
・焼き方	網、ロストル			
・電源	100V 50/60Hz 共用			
・消費電力	15 W		30 W	
・ガス消費量	都市ガス13A	3.49kW	都市ガス13A	6.98kW
	LPガス	3.49kW	LPガス	6.98kW
・ガス接続方法	15A (Rc1/2)			
・点火方式	連続スパーク方式			
・水槽水量	1,500 cc (1釜あたり)			
・安全装置	立消え安全装置		逆火防止装置	
	漏電遮断機		ダクト遮断装置	

株式会社 中部コーポレーション 本社 〒511-0944
三重県桑名市芳ヶ崎堂ヶ峰 1533-1

東京営業所 Tel. 03-5833-9968

名古屋営業所 Tel. 0594-32-1130

大阪営業所 Tel. 06-6788-2251

福岡営業所 Tel. 092-474-1312

さいごに

故障・異常の見分け方と処置方法

故障・異常の状態	原因							
	ガス栓が閉まっている	ガス管内に空気が残っている	タッチロッドの汚れ	バーナーの汚れ	ノズルの詰り	基板の故障	ブレーカーが上がっている	逆火による異常加熱
点火しない	○	○	○	○	○	○	○	
使用中に立消えた			○	○		○	○	○
警報ブザーが鳴った				○				○
故障・異常の状態	対処方法							
	ガス栓を開ける	点火操作を繰り返す	清掃してください	清掃してください	ノズル清掃棒で清掃してください	販売店に修理を依頼する	販売店に修理を依頼する	販売店に修理を依頼する

アフターサービスについて

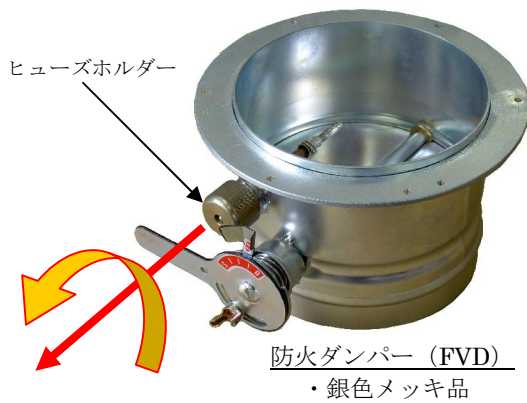
修理を依頼されるときは、まず「故障・異常の見分け方と処置方法」の項に従って お調べください。

直らないときは、保証書をよく読んでいただき 販売店に修理を依頼してください。

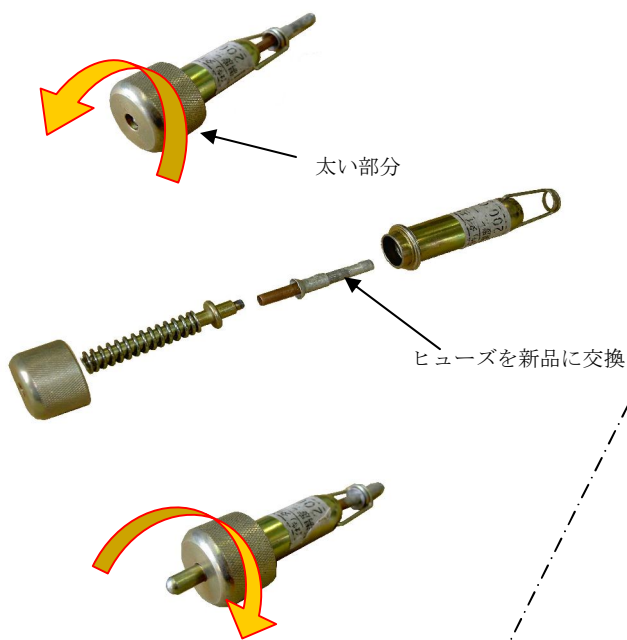
保障期間中に故障したときは 保証書を添えて 修理を依頼してください。

温度ヒューズ交換方法

下記の「1」～「5」の手順に従って
確実に実施してください。



1. ヒューズホルダーを外れるまで左に回し、防火ダンパー (FVD) から抜き取ってください。

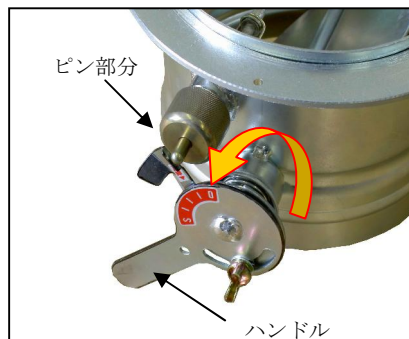


2. ヒューズホルダーの一番太い部分のみを左に回し、写真のように分解してください。

3. ヒューズを新品に交換し、「2」で分解した逆の手順で組み立ててください。

4. ヒューズホルダーを防火ダンパーに差し込んで、右回しに、奥までしっかりとねじ込んでください。

5. 最後にハンドルを左に回して、ピン部分がロックできれば完了です。



注意とお願い

- ・温度ヒューズは重要な安全装置です。必ず専用の温度ヒューズを使用してください。
- ・温度ヒューズが無くなったときには、販売店もしくは弊社まで ご注文ください。